

## <公的年金、自分の受給額は将来いくらになる？>

FPネットワーク神奈川会員 稲川純

2年前のいわゆる「老後資金 2000 万円問題」をきっかけにセカンドライフを迎えるための準備を始めた方も多いと思います。リタイア後に必要なお金は、

$$(\text{リタイア後に必要なお金}) = (\text{リタイア後の支出}) - (\text{リタイア後の収入})$$

で計算できます。今回はリタイア後の収入の柱である公的年金について、現在のシニアはいくら受け取っているのか？ 自分は将来年金をいくら受け取れるのか？ そして年金情報を確認できる「ねんきん定期便」と「ねんきんネット」について紹介したいと思います。

### ■現在のシニアの年金受給額はいくら？

現在のシニアの年金受給額を見てみましょう。

厚生労働省の「厚生年金保険・国民年金事業年報（令和元年度）」によると、令和元年度末の厚生年金保険（第1号＝民間事業勤務者）の老齢年金（基礎年金を含む）の受給者数は、男子 1,067 万人、女子 532 万人、合計 1,599 万人。平均月額は、男子の平均：16 万 4,770 円、女子の平均：10 万 3,159 円です。男子全体の 41.0%が 15 万円～20 万円未満のゾーンに、また、女子全体の 44.0%が 5 万円～10 万円未満のゾーンに入ります。

国民年金の老齢年金の受給者数は、男子 1,435 万人、女子 1,864 万人、合計 3,299 万人。平均月額は、男子の平均：5 万 8,866 円、女子の平均：5 万 3,699 円です。男女とも 6 万円～7 万円未満が最も多く、男女合わせて 1,448 万人（43.9%）となっています。

厚生年金や国民年金で足りない分は企業年金や個人年金、不動産収入、金融資産の取り崩しや働き続けることで補っていることとなります。

### ■自分の将来の年金受給額はいくら？「ねんきん定期便」で確認

自分が将来受け取れる年金額を確認する方法として、年に 1 回誕生日に日本年金機構から送られてくる「ねんきん定期便」があります。「ねんきん定期便」には年齢によって次の 4 種類の様式があります。

- ・ 節目の年 59 歳：封書、全期間の年金記録情報、年金見込額
- ・ 節目の年 35、45 歳：封書、全期間の年金記録情報、これまでの加入実績に応じた年金額

## NPO 法人 FP ネットワーク 神奈川

〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園横浜ビル 7 階

セミナー：TEL 045-620-4076 メール seminar@money.kanagawa.jp

相談：TEL 045-620-4077 メール soudan@money.kanagawa.jp

# カルチャークラブ

## 節目の年以外

- ・毎年 50 歳未満：はがき、直近 1 年間の情報、これまでの加入実績に応じた年金額
- ・毎年 50 歳以上：はがき、直近 1 年間の情報、年金見込額

ねんきん定期便が届いたら、年金記録について確認しましょう。節目の年は全期間の年金記録情報が記載されているので、転職した人などは誤りや漏れがないか確認します。

50 歳以上の方の場合は、現在の年収が 60 歳まで続くと仮定した年金見込額が記載されています。50 歳代の働き方によって、実際の年金額は異なりますが、将来の年金額の目安としては活用できます。50 歳未満の方はその時点での加入実績に基づいた年金見込み額ですので、少なくても当たり前です。これから働き続けることにより増えていきます。また、年金の受給資格は加入期間が 120 ヶ月以上必要です。加入期間も確認しましょう。

## ■便利な「ねんきんネット」

「ねんきんネット」とは、インターネットを通じてパソコンやスマホから自身の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。「ねんきんネット」でできることは、電子版「ねんきん定期便」の確認、自身の過去の全年金記録の確認、将来の年金見込額の試算などです。「ねんきん定期便」は封書かはがきで年に 1 回、年金記録も節目の年以外は直近 1 年間分しか記載がありませんが、「ねんきんネット」は、いつでも都合の良い時間に自身の全記録を確認できるので、加入期間の誤りや漏れがないかの確認に便利です。

今後転職して年収が増えた場合などを想定して収入や期間などの条件を設定して年金見込額の試算ができます。また、受給開始年齢の繰上げや繰下げなどの条件を設定しての試算もできます。65 歳で受給する場合と 70 歳に繰下げた場合の見込額の比較が、表やグラフで表示されるので分かりやすいです。

「ねんきんネット」を利用するには、「ねんきん定期便」に記載されているアクセスキーを使ってユーザー ID を取得してログインする方法と、マイナンバーカードを使いマイナポータルと連携してログインする方法があります。詳しくは日本年金機構のホームページをご覧ください。

## ■おわりに

「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」を活用して自分の将来受給できる年金額が分かると、老後に備えるための資産形成の計画も立てやすくなります。老後に不足する資金をどの

**NPO 法人 FP ネットワーク 神奈川**

〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園横浜ビル 7 階

セミナー：TEL 045-620-4076 メール seminar@money.kanagawa.jp

相談：TEL 045-620-4077 メール soudan@money.kanagawa.jp



NPO法人 FPネットワーク神奈川

# カルチャークラブ

ように準備するかについては、まずは、税制優遇制度である iDeCo（個人型確定拠出年金）  
やつみたて NISA を活用した長期・積立型の資産づくりを検討されることをおすすめします。

**NPO 法人 FP ネットワーク 神 奈 川**

〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42 八洲学園横浜ビル 7 階

セミナー : TEL 045-620-4076 メール seminar@money.kanagawa.jp

相談 : TEL 045-620-4077 メール soudan@money.kanagawa.jp